

令和 5年度杉並区事務事業評価シート

(00361)

事務事業名称	地区整備計画	款	05	項	01	目	02	事業	001	整理番号	354
現担当課名	市街地整備課	係名	地区計画係					連絡先電話番号	3373	昨年度整理番号	353
上位施策No・施策名	04 地域の魅力あふれる多心型まちづくり							予算事業区分	既定事業		
事業開始	昭和44年度	実行計画事業	目標	02	施策	04	計画事業	03			
令和 4年度担当課名	市街地整備課							事業評価区分	一般		

令和 4年度 事務事業の概要 (Plan)

対象	区内全域及び全住民、事業者など	根拠法令等	(1) 都市計画法 (2) 建築基準法
事業の目的・目標 (対象をどのような状態にしたいのか)	住環境の向上とより良い市街地形成を目指し、地域のまちづくりの方針を示した計画や地区計画、まちづくりルール等の制度を活用し、地域住民、事業者、行政の連携による地域の特性を活かしたまちづくりを進める。	活動指標	地区計画等策定区域面積 (累計)
事業内容 (事務事業の内容、やり方、手段)	地域の合意形成の状況等を踏まえ、地区計画等の策定により、良好な市街地形成や保全等を図る。地区計画に位置付けた地区施設 (地区計画道路等) の整備により、市街地整備を推進する。地区計画等の内容に沿った建築計画の届出により、良好な住環境の形成を誘導する。	指標名 (1)	地区計画等届出件数
		指標名 (2)	
		成果指標	地区計画が都市計画決定された地域における道路用地取得率
		指標名 (1)	地区計画道路用地の取得面積累計 ÷ 取得計画面積【行政】
		指標名 (2)	地区計画等策定率
		指標説明	地区計画等策定区域面積 ÷ 杉並区面積【行政】

指標、総事業費 (Plan・Do)

区分	単位	令和 2年度	令和 3年度		令和 4年度		令和 5年度	令和 4年度	令和 4年度			
		実績	計画	実績	計画 (目標値)	実績	計画	対計画比 (%)	予算執行率 (%)			
活動指標 (1)	1 ha	277	277	277	277	277	277	100.0	27.9			
活動指標 (2)	2 件	124	0	157	144	140	140	97.2				
成果指標 (1)	3 %	89.17	92.63	89.66	93.25	89.66	93.87	96.2				
成果指標 (2)	4 %	8.15	8.15	8.15	8.15	8.15	8.15	100.0				
事業費	5 千円	37,850	21,347	15,887	2,977	830	2,325	特記事項				
人件費	常勤職員分 (再任用含)	6 千円	44,641	44,216	41,965	35,041	35,019	34,936	蚕糸試験場跡地周辺地区地区計画道路の買収において折衝を進めていきましたが、取得に至らなかったこともあり、27.9%の執行率となっています。			
	上記以外の職員	7 千円	0	0	0	0	0	0				
総事業費 (5+6+7)	8 千円	82,491	65,563	57,852	38,018	35,849	37,261					
財源	受益者負担分	9 千円	0	0	0	0	0	0				
	国・都からの補助金	10 千円	0	0	0	0	0	0				
	その他の補助金等	11 千円	0	0	0	0	0	0				
	特定財源計 (9+10+11)	12 千円	0	0	0	0	0	0				
差引：一般財源 (8-12)	13 千円	82,491	65,563	57,852	38,018	35,849	37,261					

令和 5年度杉並区事務事業評価シート

令和 4年度 事業実施状況 (D o)

整理番号 354

	内 容	規模	単位	事業費 (千円)
主な取組	蚕糸試験場跡地周辺地区 まちづくり用地の管理委託	1	件	430
	その他 (全国地区計画推進協議会負担金ほか)			400
取組成果	<p>阿佐ヶ谷駅北東地区では、令和2年3月に「阿佐ヶ谷駅北東地区地区計画」が都市計画決定されたことに伴い、まちづくりだよりによる地区計画制度の周知を図るとともに、地区計画の届出による良好な住環境の形成に向けた取組を行いました。</p> <p>蚕糸試験場跡地周辺地区では、地区計画道路の用地買収に向けて折衝を進めました。また、既存のまちづくり用地については、樹木選定を行うなど適切な維持管理に努めました。</p>			

令和 4年度 評価・分析、方向性・改善策 (C h e c k ・ A c t i o n)

課題・分析 (1 / 2)	<p>「蚕糸試験場跡地周辺地区地区計画 (昭和58年度決定) 」の都市計画決定以降、「阿佐ヶ谷駅北東地区地区計画 (令和元年度決定) 」まで、12地区で都市計画決定を行いました。</p> <p>都市計画決定された地区計画等の地区数 事業開始時 (昭和44年度) 0 地区 令和元年度12地区</p> <p>今後も各地域の課題解決や住環境維持のために、住民発意によるまちづくりの取組の増加が予想されます。そのため、地域の特性を踏まえたまちづくりにあたっては、地区計画などの各種まちづくり制度を活用していきます。</p>
課題・分析 (2 / 2)	<p>地区計画が都市計画決定以降、「蚕糸試験場跡地周辺地区地区計画」、「気象研究所跡地周辺地区地区計画」、「宮前二丁目地区地区計画」については、道路用地の取得を進めてまいりました。(気象研究所跡地周辺地区地区計画と宮前二丁目地区地区計画については用地取得完了。)</p> <p>道路用地取得面積 計画 8,178㎡ 令和4年度までの実績 7,332㎡ (取得率89.66%)</p> <p>蚕糸試験場跡地周辺地区の地区計画道路の用地取得については、これまで主に建替えの機会を捉えて事業を進めていますが、権利者の高齢化に伴って建替えが困難になるなどの要因があり、交渉開始から取得に至るまで、時間を要する状況が増加しています。今後は、建替え時のみならず、住み替えによる土地権利の動きの機会を捉えた交渉も有効と考えられます。</p>
現年度の取組成果・予算執行状況 (年度末までの見込含む)	<p>地区計画が定められた区域内において、地区計画の届出を通じて地区計画等の内容に沿った良好な住環境が形成されており、地域の特性を踏まえたまちづくりの実現に向けて着実に成果を上げています。</p> <p>蚕糸試験場跡地周辺地区の地区計画道路の用地取得については、今年度1か所の用地を取得するための交渉を行っており、年度内に取得予定です。</p>
事業の方向性・改善策	<p>今後も各地域の課題解決や住環境維持のために、住民発意によるまちづくりの取組増加が予想されます。そのため、地域の特性を踏まえながら課題等を解決していく地区計画制度を活用したまちづくりの推進を目指します。</p> <p>蚕糸試験場跡地周辺地区の地区計画道路の用地取得については、建替え時のみならず、住み替えによる土地権利の動きの機会を捉えて、事業を進めていきます。</p>

令和 6年度の方針 (A c t i o n)

予算の方向性 (見直しの視点)	I 事業コストの方向性	現状維持
	II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し (改善)
予算の方向性の理由・内容	<p>既決定の地区計画区域については、地区計画の届出書で提出された建築計画が地区計画の制限に適合しているか確認することにより、今後も良好な住環境の形成を誘導していきます。</p> <p>京王線連続立体高架化工事が進められている下高井戸駅など、地域におけるまちづくりの取組や機運の高まり等を的確にとらえ、地区計画制度等を活用した地域特性を踏まえた土地利用及び住環境保全の実現を目指します。</p> <p>蚕糸試験場跡地周辺地区の地区計画道路の用地取得については、土地所有者と交渉を進めており、令和6年度は1か所の用地取得が見込まれます。</p>	

令和 5年度杉並区事務事業評価シート

(00365)

事務事業名称	まちづくり活動の支援				款	05	項	01	目	02	事業	004	整理番号	357	
現担当課名	都市整備部管理課		係名	庶務係		連絡先電話番号	3503		昨年度整理番号	357					
上位施策No・施策名	04 地域の魅力あふれる多心型まちづくり								予算事業区分	既定事業					
事業開始	平成12年度	実行計画事業	目標	02	施策	04	計画事業	04							
令和 4年度担当課名	都市整備部管理課								事業評価区分	一般					

令和 4年度 事務事業の概要 (Plan)

対象	区内で自主的なまちづくり活動を行っている団体等	根拠法令等	(1) 杉並区まちづくり条例 (2) 杉並区まちづくり助成要綱
事業の目的・目標 (対象をどのような状態にしたいのか)	まちづくりの機運を高め、地域の活性化及び住環境の向上を図るため、まちづくりルールの策定など地域の住民主体によるまちづくり団体の活動を支援する。	活動指標	活動助成団体数
事業内容 (事務事業の内容、やり方、手段)	まちづくり団体や認定されたまちづくり協議会の活動経費の一部を助成する。まちづくり団体等の活動に対し、まちづくりに関する講習会や計画書の作成等、専門的な支援が必要と認める際にまちづくりの専門家を派遣する。	指標名 (1)	活動助成団体数
		指標名 (2)	コンサルタント派遣団体数
成果指標	指標説明	指標名 (1)	活動助成により活動が充実したと回答した助成団体の割合 【区民】
		指標名 (2)	コンサルタント派遣により活動が充実したと回答した助成団体の割合 【区民】

指標、総事業費 (Plan・Do)

区分	単位	令和 2年度	令和 3年度		令和 4年度		令和 5年度	令和 4年度	令和 4年度
		実績	計画	実績	計画 (目標値)	実績	計画	対計画比 (%)	予算執行率 (%)
活動指標 (1)	1 団体	6	8	6	8	6	8	75.0	49.3
活動指標 (2)	2 団体	0	2	1	2	1	2	50.0	
成果指標 (1)	3 %	0	100	100	100	100	100	100.0	
成果指標 (2)	4 %	0	100	100	100	100	100	100.0	
事業費	5 千円	665	1,259	709	1,332	657	1,384	特記事項	
人件費	常勤職員分 (再任用含)	6 千円	2,891	4,252	3,587	2,086	4,492	2,080	まちづくり活動助成団体数が計画より少なかったことや新たなまちづくり協議会の認定団体がなかったため執行率が低くなりました。
	上記以外の職員	7 千円	3,628	1,814	1,838	1,838	1,839	1,839	
総事業費 (5+6+7)	8 千円	7,184	7,325	6,134	5,256	6,988	5,303		
財源	受益者負担分	9 千円	0	0	0	0	0	0	
	国・都からの補助金	10 千円	0	0	0	0	0	0	
	その他の補助金等	11 千円	0	0	0	0	0	0	
	特定財源計 (9+10+11)	12 千円	0	0	0	0	0	0	
	差引：一般財源 (8-12)	13 千円	7,184	7,325	6,134	5,256	6,988	5,303	

令和 5年度杉並区事務事業評価シート

令和 4年度 事業実施状況 (D o)

整理番号 357

主な取組	内 容	規模	単位	事業費 (千円)
	まちづくり活動団体助成		6	団体
	まちづくりコンサルタント派遣	1	団体	57
	その他 (講師謝礼の支出ほか)			359
取組成果	<p>まちづくり活動団体助成は、合計6団体 (新規4団体、継続2団体) から申込みがあり、助成を実施しました。</p>			

令和 4年度 評価・分析、方向性・改善策 (C h e c k ・ A c t i o n)

課題・分析 (1 / 2)	<p>まちづくり団体活動助成の申請は、計画値に近い数値で推移しており、機運を高めることができます。また、多くの団体が継続して活動を行っていますが、次の段階へのステップアップを目指すための取り組みが必要となっています。</p> <p>まちづくりコンサルタントの派遣については、まちづくり団体等の多様なニーズに合うコンサルタントを確保していく必要があります。</p>
課題・分析 (2 / 2)	
現年度の取組成果・予算執行状況 (年度末までの見込含む)	<p>まちづくり活動団体助成は、合計12団体 (新規6団体、継続6団体) からの申込みと助成を予定しています。</p> <p>まちづくりコンサルタント派遣は、1団体から申込みがあり派遣を実施しました。</p> <p>予算の執行については、計画より多くの団体から申込みがあり、事業全体としては概ね予定通りの執行となりました。</p>
事業の方向性・改善策	<p>まちづくり活動団体が区や事業者、団体間等との協働により、活動の幅を広げ主体的にまちづくりに取り組むことができるための支援方法について、まちづくり専門アドバイザーや関係課を含めて検討を進めていきます。</p> <p>今後は、まちづくり団体への支援のあり方や登録団体のまちづくり活動を活性化していくことが課題となっているため、今後の事業展開の検討を進めます。</p>

令和 6年度の方針 (A c t i o n)

予算の方向性 (見直しの視点)	I 事業コストの方向性	現状維持
	II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し (改善)
予算の方向性の理由・内容	<p>来年度は、計画しているまちづくり活動助成を行う団体の必要な予算を計上します。</p> <p>今後、まちづくり活動支援のあり方を検討していく中で、必要な予算を計上していきます。</p>	

令和 5年度杉並区事務事業評価シート

(00368)

事務事業名称	都市再生事業			款	05	項	01	目	02	事業	007	整理番号	360
現担当課名	市街地整備課		係名	荻窪まちづくり担当係			連絡先電話番号	3382		昨年度整理番号	360		
上位施策No・施策名	04 地域の魅力あふれる多心型まちづくり							予算事業区分	既定事業				
事業開始	平成23年度	実行計画事業	目標	02	施策	04	計画事業	01	主要事業（区政経営報告書掲載事業）				
令和 4年度担当課名	市街地整備課							事業評価区分	一般				

令和 4年度 事務事業の概要 (Plan)

対象	荻窪駅周辺地区	根拠法令等	(1) 都市計画法、都市再開発法 (2) 杉並区まちづくり基本方針、杉並区まちづくり条例
事業の目的・目標 (対象をどのような状態にしたいのか)	○荻窪駅周辺のまちの特長や個性を生かしつつ、課題である駅南北の連絡機能の強化や回遊性の向上、防災性の向上などに、ハード・ソフトの両面から取り組むことにより、その魅力を更に高め、にぎわいと住環境が調和した、住み続けたい、訪れたいまちを目指します。	活動指標	地元住民や各種団体、関係事業者等との打合せ回数
事業内容 (事務事業の内容、やり方、手段)	「荻窪駅周辺まちづくり方針」の具体化に向け策定した「荻窪駅周辺 都市総合交通戦略」及び「荻窪の歴史・まち・人を想う15の提案」を推進する。荻窪駅の案内・誘導サインの整備に関する、ルール及び整備計画を策定する。コロナ禍が交通課題に及ぼす影響を調査するため、荻窪駅周辺の人・自転車の通行量及び車両の交通量の調査・分析を行う。荻窪の地域ロゴマークの普及啓発を行う。	指標説明	普及啓発活動等の回数
		指標説明	荻窪駅周辺まちづくりニュースの発行及びまちづくり周知イベントの開催 (令和4年度追加) 回数の合計
		成果指標	駅周辺まちづくり計画等の策定数
		指標説明	平成23年度からの累計策定数【社会】
		指標説明	

指標、総事業費 (Plan・Do)

区分	単位	令和 2年度	令和 3年度		令和 4年度		令和 5年度	令和 4年度	令和 4年度
		実績	計画	実績	計画 (目標値)	実績	計画	対計画比 (%)	予算執行率 (%)
活動指標 (1)	1 回	48	40	26	40	58	60	145.0	90.7
活動指標 (2)	2 回	1	3	2	3	5	4	166.7	
成果指標 (1)	3 件	3	3	3	4	5	6	125.0	
成果指標 (2)	4								
事業費	5 千円	8,072	7,171	5,579	10,660	9,668	10,594	特記事項	
人件費	常勤職員分 (再任用含)	6 千円	27,465	25,509	27,699	33,372	37,681	33,272	
	上記以外の職員	7 千円	0	0	0	0	0	0	
総事業費 (5+6+7)	8 千円	35,537	32,680	33,278	44,032	47,349	43,866		
財源	受益者負担分	9 千円	0	0	0	0	0	0	
	国・都からの補助金	10 千円	0	0	0	0	0	0	
	その他の補助金等	11 千円	2,270	0	0	0	909	2,136	
	特定財源計 (9+10+11)	12 千円	2,270	0	0	0	909	2,136	
	差引：一般財源 (8-12)	13 千円	33,267	32,680	33,278	44,032	46,440	41,730	

令和 5年度杉並区事務事業評価シート

令和 4年度 事業実施状況 (D o)

整理番号 360

	内 容	規模	単位	事業費 (千円)
主な取組	荻窪駅周辺サイン整備に向けた調整支援業務委託	1	件	1,991
	荻窪駅周辺 都市総合交通戦略改定調査業務委託	1	件	1,441
	荻窪駅周辺の人流データ分析業務委託	1	件	1,100
	荻窪の地域ロゴマークを活用したオリジナルグッズの購入			495
	その他 (管理経費、消耗品購入費ほか)			4,641
取組成果	荻窪駅の案内・誘導サイン整備に向け、「荻窪駅周辺サイン基本ルール」、「荻窪駅周辺サイン整備計画【第1期】」を策定しました。コロナ禍を経た荻窪駅周辺の人・自転車の通行量及び車両の交通量の変化について調査・分析を行いました。荻窪の地域ロゴマーク周知イベントを開催し、ロゴマークを活用したオリジナルグッズを作成・配布し、普及啓発を行いました。			

令和 4年度 評価・分析、方向性・改善策 (C h e c k ・ A c t i o n)

課題・分析 (1 / 2)	荻窪駅周辺は、区内最大の交通結節点であり、商業・業務、公共サービス、文化・教育などの都市機能が集積する杉並区の中心的な拠点となっています。一方で、駅前広場機能が必ずしも十分でないことや区内唯一のJR地上駅であることによる駅南北の商店街の分断、回遊性の不足など、他のJR3駅と比べて都市の芯としての課題を抱えています。こうした現状のもと、杉並区が住宅都市としての価値をさらに高めていくため、その潜在能力を十分に生かした魅力的でにぎわいのあるまちづくりを推進していくことが求められています。
課題・分析 (2 / 2)	荻窪駅周辺のまちの特長・課題を踏まえ、まちの動向や社会経済状況の変化に対応しながら、区民・事業者・行政が一体となって戦略的・計画的にまちづくりを推進していくため、まちの将来像と目標、その実現に向けた取組の方向性を明らかにする「荻窪駅周辺まちづくり方針 (平成29年4月)」を策定しました。「荻窪駅周辺まちづくり方針」で掲げられたまちの将来像の実現に向けて、荻窪駅周辺の交通環境における課題に対応するため、「荻窪駅周辺 都市総合交通戦略 (平成31年1月)」を策定し、また「歴史文化の薫り漂う、住んでよし、訪れてよしのまち」の実現のため、「荻窪の歴史・文化・人を想う15の提案」を策定し、推進しています。
現年度の取組成果・予算執行状況 (年度末までの見込含む)	令和6年の(仮称)荻外荘公園の開園をきっかけとし、また、「荻窪駅周辺まちづくり方針」に掲げた目標実現のため、都市再生整備計画に基づく荻窪駅周辺の回遊性及び利便性向上に向けた取組を計画的に進めています。 荻窪三庭園を中心とした、駅周辺に点在する歴史的・文化的資源を回遊するスムーズなまち歩きをサポートする観光案内板及び案内・誘導サインの整備に向けた検討を行います。 また、荻窪駅改札外通路の利便性向上を図るため、案内・誘導サインの整備を行います。
事業の方向性・改善策	(仮称)荻外荘公園の開園に向けた総合的・一体的な施策推進のため、令和4年度に都市再生整備計画を策定し、令和5、6、7年度の3年間で回遊性の向上に関する取組を計画的に実施します。荻窪三庭園を中心とした、駅周辺に点在する歴史的・文化的資源を回遊するスムーズなまち歩きをサポートする観光案内板及び案内・誘導サインの整備に向けた検討を行っています。観光案内板については、板面に荻窪の歴史に関するエピソード等を盛り込み、まちの魅力を知り、楽しみながら目的地までたどり着くことができるような検討を進めています。案内・誘導サインについては、現地踏査を入念に行い、分かりやすい案内が出来るように検討を進めています。

令和 6年度の方針 (A c t i o n)

予算の方向性 (見直しの視点)	I 事業コストの方向性	拡充
	II 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し (改善)
予算の方向性の理由・内容	(仮称)荻外荘公園の開園に向けた総合的・一体的な施策推進のため、令和4年度に策定した都市再生整備計画に基づき、令和5、6、7年度の3年間で回遊性の向上に関する取組を計画的に実施します。令和6年度は、12月の(仮称)荻外荘公園の開園に向け、荻窪三庭園を中心とした、駅周辺に点在する歴史的・文化的資源を回遊するスムーズなまち歩きをサポートする観光案内板及び案内・誘導サインの整備を集中的に行うため、事業費の増加が予想されます。	

令和 5年度杉並区事務事業評価シート

(00369)

事務事業名称	多心型まちづくりの推進				款	05	項	01	目	02	事業	008	整理番号	361	
現担当課名	市街地整備課		係名	拠点整備係		連絡先電話番号	3383		昨年度整理番号	361					
上位施策No・施策名	04 地域の魅力あふれる多心型まちづくり								予算事業区分	既定事業					
事業開始	昭和44年度	実行計画事業	目標	02	施策	04	計画事業	02	主要事業（区政経営報告書掲載事業）						
令和 4年度担当課名	市街地整備課								事業評価区分	一般					

令和 4年度 事務事業の概要 (Plan)

対象	区民及び駅周辺地域来訪者 再開発事業などの民間再開発を行おうとする者 鉄道事業者	根拠法令等 (1) (2)	都市計画法、都市再開発法
事業の目的・目標 (対象をどのような状態にしたいのか)	駅周辺地域を中心に、地域特性を活かしたにぎわいと多彩な魅力のあるまちづくりを進める。 民間再開発事業等を支援する。	活動指標 指標名 (1) 指標説明 指標名 (2)	駅周辺まちづくりに関する懇談会・意見交換会等の開催数 駅周辺まちづくりに関するニュース等の発行回数
事業内容 (事務事業の内容、やり方、手段)	ハード施策とソフト施策の連携を強化し、地域特性を活かしたまちづくりを推進する。 まちづくりの相談や指導を通して、地権者の組織化等の活動を支援する。 助成制度を活用し、民間再開発事業の活動を支援する。	成果指標 指標名 (1) 指標説明 指標名 (2) 指標説明	駅周辺まちづくり方針等の策定数 富士見ヶ丘駅周辺まちづくり方針策定【行政】

指標、総事業費 (Plan・Do)

区分	単位	令和 2年度	令和 3年度		令和 4年度		令和 5年度	令和 4年度	令和 4年度
		実績	計画	実績	計画 (目標値)	実績	計画	対計画比 (%)	予算執行率 (%)
活動指標 (1)	1 回	6	5	7	5	6	5	120.0	56.6
活動指標 (2)	2 回	3	3	3	3	1	3	33.3	
成果指標 (1)	3 件	0	1	0	1	0	1	0.0	
成果指標 (2)	4								
事業費	5 千円	7,849	16,431	13,561	18,510	10,474	17,549	特記事項	
人件費	常勤職員分 (再任用含)	6 千円	23,978	25,509	28,533	33,372	36,599	33,272	予算執行率が90%未満となった主な理由は、西荻窪駅周辺まちづくり懇談会運営等支援業務委託 (令和4年度) の委託内容が変わり、委託費が大幅に減少したことが挙げられます。
	上記以外の職員	7 千円	0	0	0	0	0	0	
総事業費 (5+6+7)	8 千円	31,827	41,940	42,094	51,882	47,073	50,821		
財源	受益者負担分	9 千円	0	0	0	0	0	0	
	国・都からの補助金	10 千円	0	0	0	0	1,500	0	
	その他の補助金等	11 千円	0	0	0	0	0	0	
	特定財源計 (9+10+11)	12 千円	0	0	0	0	1,500	0	
	差引：一般財源 (8-12)	13 千円	31,827	41,940	42,094	51,882	45,573	50,821	

令和 5年度杉並区事務事業評価シート

令和 4年度 事業実施状況 (D o)

整理番号 361

内容	規模	単位	事業費 (千円)
阿佐ヶ谷駅北東地区における公民連携まちづくりの推進に関する支援業務委託	1	件	4,983
中杉通り沿道まちづくり検討支援業務委託 (令和4年度)	1	件	2,514
西荻窪駅周辺まちづくり懇談会運営等支援業務委託 (令和4年度)	1	件	408
ハード・ソフト連携による駅周辺まちづくり (案内看板設置・鳩糞対策)	2	件	142
その他 (負担金、事務費ほか)			2,427

取組成果

各地域のまちづくりについて、阿佐ヶ谷駅北東地区では「緩やかな協議の場 (エリアプラットフォーム)」の構築を行いました。中杉通り沿道では、道路管理者や周辺町会等と意見交換を行い課題共有しました。西荻窪駅周辺では、懇談会及びミーティング等の今後の進め方や内容について検討を行いました。富士見ヶ丘駅周辺では、令和4年度中の駅周辺まちづくり方針策定に向け、庁内関係部署との調整やまちづくり協議会との意見交換を実施しましたが、上位計画であるまちづくり基本方針策定の進捗を踏まえ、スケジュールを見直し、令和5年度中に策定することとしました。

令和 4年度 評価・分析、方向性・改善策 (C h e c k ・ A c t i o n)

課題・分析 (1 / 2)	<p>公民連携まちづくりでは、構築をしたエリアプラットフォームを発足し、エリアプラットフォームの中でエリアマネジメントに向けた協議等を行う必要があります。また、「阿佐ヶ谷駅北東地区まちづくり計画」の具体化・実現化を図るため、未来ビジョンの策定を進める必要があります。中杉通り沿道まちづくりでは、引き続き、交通管理者や道路管理者と情報共有を図るとともに、課題解決に向けて関係者を集めた場を構築するなど、今後の進め方について検討を進める必要があります。西荻窪駅周辺まちづくりでは、昨年度末に「区民と区長の対話集会 (さとことプレスト)」のまとめとして、シンポジウムが開催され、令和5年度は、新たな意見交換の場を開催していくことが示されました。上記を踏まえ、今後、まちづくり懇談会等の対話や議論は、新たな意見交換の場の中で行えるよう</p>
課題・分析 (2 / 2)	<p>に体制を整える必要があります。ハード・ソフト連携による駅周辺まちづくりでは、引き続き庁内連絡会を開催し、各地域の課題等について情報共有を図るとともに、地域の課題解決に向けて区内部で連携した取組を推進することが重要です。浜田山駅南口の整備については、区民の安全性・利便性の向上のため、引き続き地域の動向を注視し、京王電鉄の協力を得ながら、南口の整備について検討する必要があります。富士見ヶ丘駅周辺まちづくりでは、まちづくり方針について、上位計画であるまちづくり基本方針の進捗を踏まえ、策定スケジュールを見直しました。まちづくりに関する区民等への情報の公開や対話の機会の充実が求められているため、今後は、まちづくりニュースの配布や区民等との意見交換を行い、地域の声を丁寧に聴取しながら取組を進めていくことが重要です。</p>
現年度の取組成果・予算執行状況 (年度末までの見込含む)	<p>阿佐ヶ谷駅北東地区において、これまでの事業に関する説明・質疑応答を行う「まちづくりを振り返る会」を開催。公民連携まちづくりでは、未来ビジョン策定と活動の周知や体制の拡大に向けて業者選定の公募型プロポーザルを行う準備・調整を行っています。中杉通り沿道まちづくりでは、調査委託により、今後、パーキングメーターの利用実態調査等を行い、課題解決策等の整理をします。ハード・ソフト連携による駅周辺まちづくりでは、庁内連絡会を開催し、地域の課題解決に向けて区内部で連携した取組を推進します。富士見ヶ丘駅周辺まちづくりでは、令和5年度中の駅周辺まちづくり方針策定に向けて、ニュースの発行及び意見交換会を開催などによる地域の方々への情報発信と意見聴取を進めています。</p>
事業の方向性・改善策	<p>公民連携まちづくりでは、来年度にかけて未来ビジョンの策定を通じ、体制・エリア・活動等の拡大を目指します。また、新たに阿佐ヶ谷駅等周辺まちづくりにおける対話の場を年度内に2回程開催します。中杉通り沿道まちづくりでは、自転車走行空間確保のため、課題解決策等の整理を行います。ハード・ソフト連携による駅周辺まちづくりでは、地域の課題解決に向けて区内部で連携した取組を推進します。浜田山駅南口の整備については、区民の安全性・利便性の向上のため、引き続き地域の動向を注視し、京王電鉄とも協力しながら南口の整備について検討します。富士見ヶ丘駅周辺まちづくりでは、他課と連携の上、住民の意見を聞きながら、まちづくり方針に基づいた個別具体的なまちづくりの取組を推進していくと共に、ニュースの作成・配布等、地域への情報発信にも注力します。</p>

令和 6年度の方針 (A c t i o n)

予算の方向性 (見直しの視点)	I 事業コストの方向性	現状維持
	II 事業の改善の方向性	実施主体の見直し・対象の見直し
予算の方向性の理由・内容	<p>事業に関して、上記の通り引き続き取組を進めます。今年度から新たに行う阿佐ヶ谷駅等周辺まちづくりにおける対話の場において課題の抽出・分析や対応の方向性等に関して区民と協働して検討するプロセス・体制を構築します。この検討・開催等に必要経費を計上します。公民連携まちづくりについて、未来ビジョンの策定を通じ、上記対話の場等との連携もを行い、体制・エリア・活動等の拡大を目指します。この検討や活動の支援に必要な経費を計上します。西荻窪駅周辺まちづくりについては、道路整備に伴うまちづくりとして他課にて事業を行う予定です。</p>	